

オリエンテーション資料

1. 参加者

①学習者

日本語サポーターと話すことを通して日本語を学習します。

②日本語サポーター

学習者と日本語で話します。

学習者が話の内容を理解できるように工夫して話します。

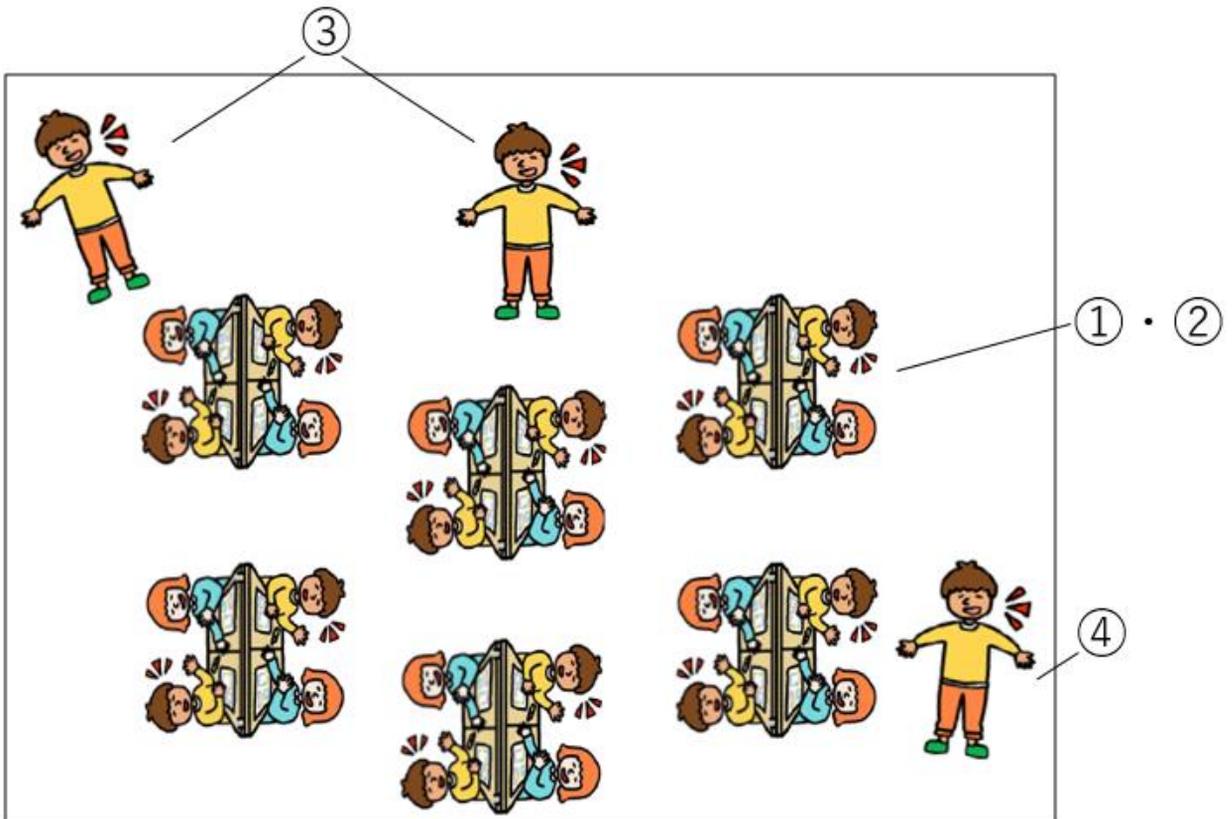
③指導者・補助者

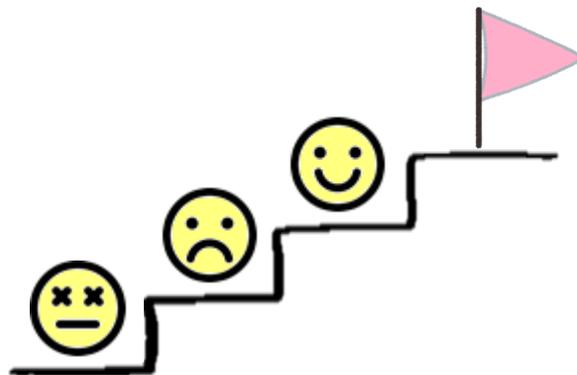
教室活動の進行をします。

教室で困ったことがあったら、相談してください。

④外国人住民コーディネーター

教室のことで困ったときに相談に乗ります。





2. 教室の目的

【学習者】

あいさつや自己紹介など、自分にとって身近な話題について日本語で話せるようになります

【日本語サポーター】

日本語があまり分からない人とのコミュニケーションの方法を学びます

【参加者全員】

教室に参加している人とお互いのことを知り合い、仲良くなります。



3. この教室の進め方

①トピックの確認とCan-doチェック



を見て、今日話すトピックと、トピックのCan-doを確認します。

Can-doの「クラスの前」に自己評価をします。

②モデルを聞く

指導者が今日のトピックについて自分のことを話します。
参加者は今日のトピックについてどんな話をするかイメージします。



③話す (1)

ペアかグループで今日のトピックについて話します。
ワークシートの指示やイラストを参考に、自分が伝えたいことを考えます。

 1には自分が話したいことをメモします。

メモはイラスト、自分の国のことば、ローマ字など何でもいいです。

 2には他の人が話したことで、気になることばや初めて聞いたことば、分かったことなどをメモします。メモは自分の国のことばやローマ字でもいいです。



④話す (2)

ペアやグループを変えてたくさんの人と話します。

同じトピックについてたくさんの人と話すことで、自分のことを伝えられるようになります。

⑤Can-doチェック



 1のCan-doの「クラスの後」に自己評価をします。

⑥今日話したこと

 2に今日話したことを書きます。

後から日本語で話せるように書きます。

自分のわかる文字でいいです。



⑦覚えたいことば

 3に今日覚えたいことを書きます。

 1や 2を見ながら、覚えたいことばを選んで書きます。

⑧感想



 4に今日の学習についての感想を書きます。

何ができたか、何が難しかったか、どう思ったかを記録します。

自分が感じたことを記録するので、自分の国のことばで書きます。